

「福井良之助 孔版画展」

- (1) ギャラリー石榴 松本：2018年5月17日(木) - 27日(日)
(2) ギャラリー石榴 南青山 Room：2018年6月8日(金) - 16日(土)
-

新緑の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、ギャラリー石榴では、長野県松本市と東京南青山の2会場にて「福井良之助 孔版画展」を開催いたします。

福井良之助(1923-1986)は30代後半から40代前半の約10年間、他に類をみない版画作品を集中的に制作し、現在わかっているだけで300種ほどを残しました。それらは重厚な美しさをもった作品群ですが、その格調高さはうらはらに、作家が手にしていたのは、当時、巷にあふれたガリ版と呼ばれる簡易印刷の道具の数々です。美術を生み出す手法としては見向きもされない印刷装置を、あたかも人知れず発見するかのように、彼は独自の美の鉱脈を掘りあてたのでした。

福井良之助 孔版画展としては弊廊5回目となる本展では、孔版20余点を通し、日本の戦後美術における豊かな伏流を展覧いたします。つきましては、本展の広報にご協力賜われますよう、何卒お願い申し上げます。

■ 作家略歴

- | | |
|-------|--|
| 1923年 | 東京都日本橋に生まれる |
| 1944年 | 東京美術学校(現在の東京芸術大学)工芸科鍍金部を卒業 |
| 1948年 | 太平洋画会にて「冬(習作)」(後に「みちのくの冬」に改題)会員賞受賞 |
| 1951年 | 疎開先の岩手県・一関市で謄写版に出会う |
| 1959年 | 日本橋画廊での孔版画の初個展。以後、国内外で発表を重ねる |
| 1962年 | 第3回東京国際版画ビエンナーレ展出品 |
| 1963年 | 第5回リュブリアナ国際版画ビエンナーレ展出品 |
| 1965年 | 孔版画制作をほぼ行わなくなり、以後、油彩制作を中心に発表を重ねる |
| 1986年 | 逝去 |
| 2005年 | 「福井良之助 孔版画」展開催、岩手県立美術館(岩手)、佐倉市立美術館(千葉)、高崎市美術館(群馬)を巡回 |

■ 主なパブリックコレクション（版画作品のみ）

一ノ関美術館、岩手

岩手県立美術館、岩手

ウッドワン美術館、広島

河口湖美術館、山梨

塩沢町立今泉博物館、新潟

高崎市美術館、群馬

遠野市立博物館、岩手県

東京国立近代美術館、東京

東京都現代美術館、東京

富山県美術館、富山

町田市立国際版画美術館、東京

三重県立美術館、三重

メナード美術館、愛知

米子市美術館、鳥取

和歌山県立近代美術館、和歌山

サンフランシスコ美術館、サンフランシスコ

シカゴ・アート・インスティテュート、シカゴ

セントルイス美術館、セントルイス

デヴィソン・アートセンター、ミドルタウン(コネチカット州)

ニュー・サウス・ウェールズ国立アートギャラリー、シドニー

ニューヨーク近代美術館、ニューヨーク

ニューヨーク国立図書館、ニューヨーク

米国国会図書館、ワシントン

福井良之助

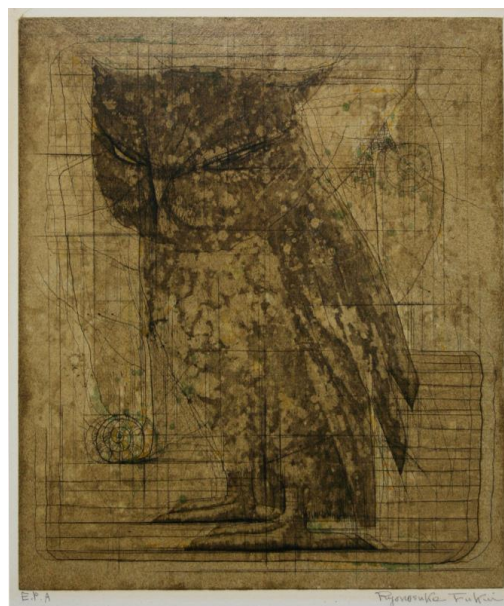
ふくろう

1960 年前後

ed. 10

孔版

25.5×21.5cm



■ 展覧会概要

展覧会タイトル：「福井良之助 孔版画展」

会期：(1) ギャラリー石榴 松本: 2018 年 5 月 17 日(木) - 27 日(日) 10:00 - 18:00 会期中無休

「クラフトフェアまつもと 2018」期間中は 2 会場で開催：5/26(土)・27(日) (シナノ画房内: 松本市深志 3-7-8)

〒390-0821 長野県松本市筑摩 2-17-10 Tel. 0263-27-5396 Fax. 0263-27-2351

アクセス：長野自動車道 松本 IC から車で約 15 分 ※駐車場あり

(2) ギャラリー石榴 南青山 Room：2018 年 6 月 8 日(金) - 16 日(土) 11:00 - 19:00 水曜休廊

〒107-0062 東京都港区南青山 1-11-39 1139 南青山 2F Tel & Fax. 03-6438-9690

アクセス：東京外口銀座線、半蔵門線／都営大江戸線「青山一丁目」駅 4(南)出口より徒歩4分